

海藻活用シンポジウム東京開催のご案内

海藻活用研究会 事務局

シンポジウムテーマ 「海藻活用によるブルーエコノミーの実現に向けて」

日時 12月4日(水) シンポジウム 13:00～17:00

情報交換会 17:30～19:30

場所 Fujitsu Uvance Kawasaki Tower 20F (JR川崎駅から歩いてすぐ)



JR川崎駅「中央北改札」または「中央南改札」を出て中央西口方面（ラゾーナ川崎方面）に進む。「ラゾーナ川崎」の手前で左折し、歩行者デッキを直進。「ホテルメトロポリタン川崎」脇の歩道を進み「JR川崎タワー」のオフィスロビー入口より入場。

共催 日本海藻協会、富士通株式会社

協賛 シンポジウム実行委員会(カネリョウグループ、スタージュ株式会社、株式会社プレイン アンド シー、株式会社 ring フーズ、渋谷潜水工業グループ、株式会社東京化学品研究所、三菱ケミカル株式会社、株式会社シー・アクト)敬称略

後援 函館市 (後援申請中)

講演内容 次ページをご参照下さい。

備考 シンポジウム後の「情報交換会」にも是非ご参加下さい。

申込 別紙の申込書に必要事項を記載のうえ事務局あてご提出ください。詳細は申込書に記載しています。

海藻活用シンポジウム東京 (2024/12/4)

シンポジウムテーマ 「海藻活用によるブルーエコノミーの実現に向けて」

シンポジウム 13:00～17:00 (途中休憩あり) 情報交換会 17:30～19:30

講演内容 (変更になる場合があります。)	講演者
基調講演：海藻活用によるブルーエコノミーの実現に向けて	北海道大学名誉教授、帯広畜産大学客員教授、北海道文教大学教授、 海藻活用研究会副会長 宮下 和夫
日進月歩するブルーカーボンの最新情報	ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 理事長 桑江 朝比呂 様
奥尻町におけるブルーカーボンの活用と海藻の活用について	奥尻町 産業振興課 課長 横田 稔 様
海洋デジタルツインによる新たなモニタリング提案(仮)	富士通株式会社 富士通研究所 宮崎 滉己 様
BlueCarbonSink 事業 ワンストップで藻場造成からブルーカーボン創出まで実現！	株式会社 B L U A B L E 代表取締役 魚谷 貴秀 様
プロの料理人から見た和食食材としての“海藻”の魅力	辻調理師専門学校 東京 日本料理教員 満園 聖 様
海外市場における海藻類の動向	Octrol 株式会社 代表取締役 田中 啓之 様
函館・南かやべのコンブ漁業とブルーカーボン	NPO 法人マリンネットワーク理事長、 中央大学研究開発機構教授 (客員)、 苫小牧漁業協同組合みなとアドバイザー 片石 温美 様

★展示スペースと PR タイムをご活用下さい。

会場に展示スペースを設けます。展示スペースは長机 1 台分です。試作品の展示や試供品の配布も可能です。講演の合間に 1 社 3 分間の PR タイムを設けます。ピッチ方式で新製品やお取り組みの PR などにご活用下さい。会員優先となりますが、会員外の展示 PR も歓迎です。展示 PR の申し込みは事務局 梅津までご連絡下さい。

TEL 080-5093-0240 メール a-umetsu@hokkaido-marine.com

FAX 0138 -84 -8241

メール regist@hokkaido-marine.com

海藻活用研究会 事務局行

海藻活用シンポジウム(東京) 参加申込書

2024/12/4 開催の海藻活用シンポジウム

「海藻活用によるブルーエコノミーの実現に向けて」への参加を申し込み致します。

氏名	
フリガナ	
会社名(団体名)	
メールアドレス	<hr/> <p style="text-align: center;">@</p> <p>※申込受付メールを送りますので間違いのないように記載願います。</p>
携帯電話番号(連絡先)	

下の該当する□に✓を入れてください。

シンポジウム 参加費 1,000 円	<input type="checkbox"/> 参加します。	<input type="checkbox"/> 参加しません。
情報交換会 参加費 5,000 円	<input type="checkbox"/> 参加します。	<input type="checkbox"/> 参加しません。

会費は当日会場にて頂戴いたします。領収書を発行します。

【お問い合わせ】

海藻活用研究会事務局 北海道マリイノベーション株式会社 梅津宛

メール a-umetsu@hokkaido-marine.com 携帯 080-5093-0240

※複数名を纏めてお申込の場合は、別途エクセルフォームをご利用下さい。